

令和7年11月22日(土)、第14回講座として、高齢介護課・地域包括支援センター主催の「認知症徘徊声かけ訓練」に参加しました。講座は、久喜すずのき病院の出井先生による「認知症について」の講義からスタートし、医学的な見地から認知症の方への接し方の基本を学びました。

続いて体験学習では、徘徊者への声掛け訓練やVR（仮想現実）機器を使った認知症当事者の視点体験などを行いました。声掛け訓練を経験した学生からは「実際の場面では、ためらってしまい、勇気がいるなと思った」などの気づきがあり、一人ひとりが「地域での見守り」を自分事として捉える、非常に意義深い講座となりました。

### 【講座の様子】

